

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年 6月 15日

福岡県知事 殿

提出者

住所 筑後市大字野町200番地

氏名 株式会社DNPテクノパック筑後工場
工場長 石井 克典

電話番号 0942-53-3711

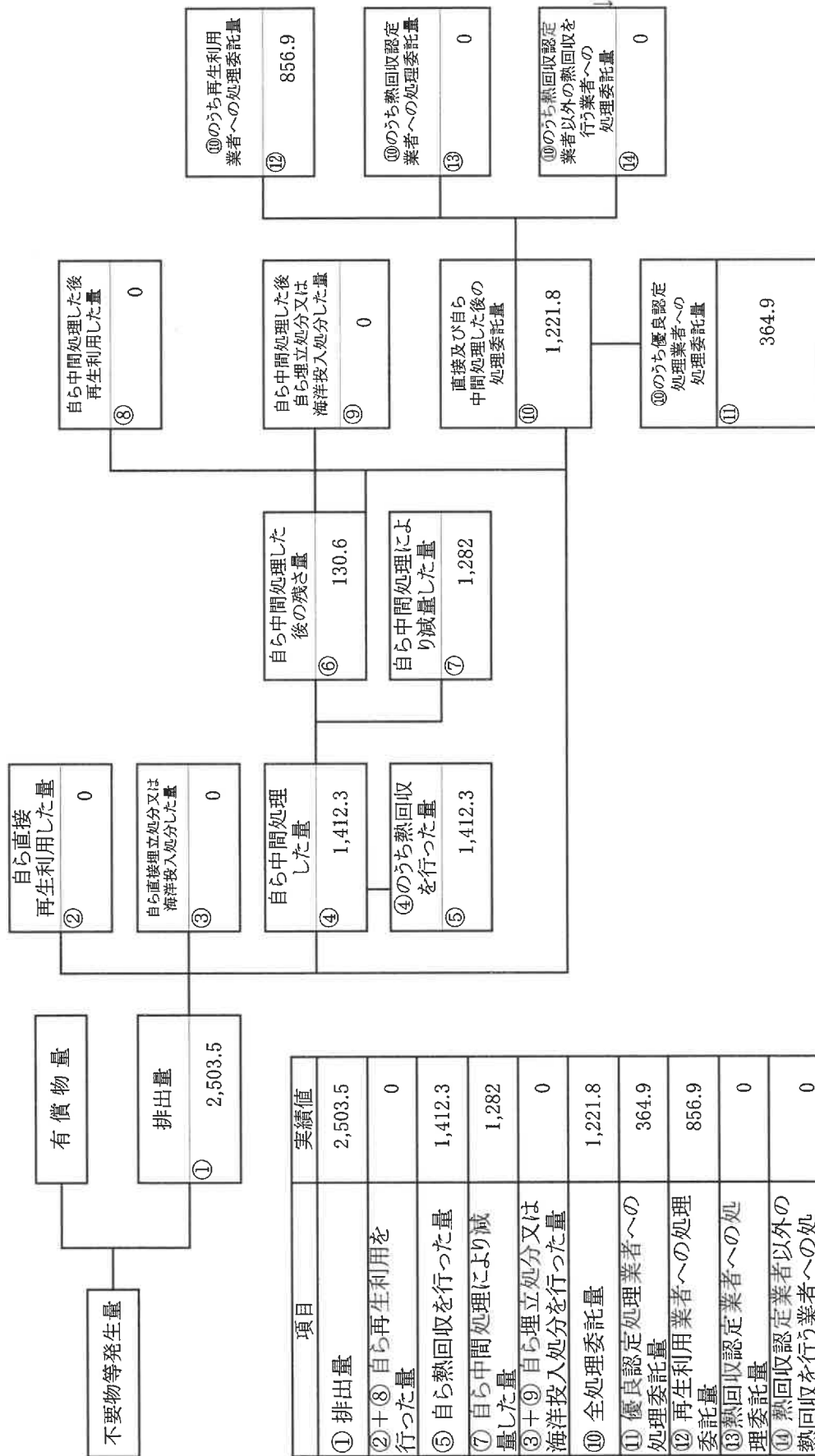
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社DNPテクノパック筑後工場		
事業場の所在地	筑後市大字野町200番地		
事業の種類	印刷・同関連業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,134.4 t	全処理委託量	818.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	315.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1,423.6 t	再生利用業者への処理委託量	502.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,313.5 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類他)



項目	実績値
① 排出量	2,503.5
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	1,412.3
⑦ 自ら中間処理により減量した量	1,282
③+⑨ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1,221.8
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	364.9
⑫ 再生利用業者への処理委託量	856.9
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

【別紙】

1. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和2年度)実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	木くず	ガラスくず	金属くず
	排出量	2086.4 t	205.4t	2.9t	2.6 t	0.2 t	0.74t
	(これまでに実施した取組) 再資源化推進 歩留り改善 用紙サイズの最適発注による端材発生抑制 溶剤回収装置の利用促進						
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	木くず	ガラスくず	金属くず
	排出量	2065.5t	203.3t	2.9t	2.6t	0.8t	0.7t
	(今後実施する予定の取組) 同上						

2. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和2年度)実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	木くず	もえがら	ばいじん	ガラスくず	金属くず
	全処理委託量	879.5t	1.8t	2.9t	2.6t	69.4t	61t	0.2t	0.74t
	優良認定処理業者への委託処理量	22.6t	1.8t	2.9t	2.6t	69.4t	61t	0.2t	0.74t
	再生処理業者への委託処理量	856.9t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
(これまでに実施した取組) 社会的に信頼性が高く処理方法、処理能力等に問題がなくかつ、ゼロエミ対応が可能である業者を選定し、産業廃棄物処理委託契約を締結。 定期的に処分場パトロールを実施。									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	木くず	もえがら	ばいじん	ガラスくず	金属くず
	全処理委託量	870.7t	1.8t	2.9t	2.6t	68.7t	60.4t	0.2t	0.7t
	優良認定処理業者への委託処理量	22.4t	1.8t	2.9t	2.6t	68.7t	60.4t	0.2t	0.7t
	再生処理業者への委託処理量	848.3t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
(今後実施する予定の取組) 同上									

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず他
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	1206.9 t	205.4 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1095.3 t	186.4 t
(これまでに実施した取組) 分別を徹底し、再資源化が困難なものについて中間処理を実施。焼却により発生する熱エネルギーを工場内で利用。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず他
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1194.8 t	203.3 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1084.3 t	184.5 t
(今後実施する予定の取組) 同上			

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。